

令和4年度

(2022年4月～2023年3月)

尼崎理容美容専門学校

自己評価表

学校法人阪神専修学園

尼崎理容美容専門学校

令和5年5月29日

令和4年度自己評価

1 学校の教育理念、教育目標

本校は、教育理念として建学の精神「克己」「努力」「奉仕」を掲げ、教育基本法、学校教育法ならびに理容師法および美容師法にもとづき、理容・美容等に関する知識と技能を習得せしめ併せて人格の徳性を育て、もって優秀なる理容師・美容師を養成することを目的とする。

建学の精神を基に、自ら考えて行動することのできる、社会に貢献できるような「人財」の育成に取り組んでいる。

なお建学の精神

「克己」…おのれに克(か)つこと。

「努力」…目標を実現するために、心や身体を使ってつとめること。

「奉仕」…報酬や見返りを求めずに労働や行動を行うこと。

2 本年度の目標、計画

「選ばれる学校」を掲げ、個性に合わせた学び方を提供しつつ、理容、美容への好奇心、興味、好きになってもらいながら、折れない心や志を持った学生を育てていく。具体的にはカリキュラムについても大きく変更を行い、1年生においては実習扱いとなる総合技術の時間において1学期に「メイク」「ジェル」「エステ」「ネイル」「アロマ」「アレンジヘア」を各20時間の計120時間ベーシックとして学び、2学期は専門性を高めるために「メイク」「ジェル」「エステ」から1つ、また「ネイル」「アロマ」「アレンジヘア」から1つを選択し各90時間学ぶ。3学期には1年間の集大成的な意味合いで「フォトシューティング」を60時間実施。このフォトシューティングにも使用できるよう1階W3の教室をフォトスタジオとして改装を行った。

2年生においても1つは理美容技術の時間を1学期、2学期で各30時間の計60時間設定。学生から要望が多かったヘアカラーに特化した授業であったり、その他、外部を招へいしての特別授業などを積極的に実行。もう1つは1年次の時の楽しさをメインとした総合技術から転換し、より深く専門的に学ぶための授業を行っていく。評価も出席点のみという評価内容から変更し、授業中での態度や課題提出、テストなどでの評価と変更する。改めて正しい方向に学生たちを導き、同時に質の高い授業を行っていくことを念頭に置く。

また、積極的な学生個々の学びたいという気持ちを叶えられるように各種奨学金や補助金なども活用しながら、学費の軽減や学生の状況に合わせた納入計画を提案する。

これらを実践するために、学生ひとりひとりを教職員全体で指導する意識を持ち、常に互いのフォローができるような環境作りを心がける。

なお、新型コロナウイルス感染症については感染拡大防止への対策、配慮を行いながら、学生が安心して学べるよう教育環境などに最善の配慮を図っていく。

3 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標	
評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
・学校の理念・目的・育成人物像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	3
・学校における職業教育の特色は何かを把握しているか	3
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
・学校の理念・目的・育成人物像・特色・将来構想などが 学生・保護者等に周知されているか	3
・各学科の教育目標、育人人材像は、学科等に対応する業界の ニーズに向けて方向づけられているか	3
①課題	
<p>業界にニーズをより育人人材像におとしこみ、学校の価値、卒業生の価値を高めなければいけない。 学生達の中に『技術習得』の意義が無い様に感じられる。 また、何を学びに専門学校にきているのかと感じられる学生もいる。</p>	
②今後の改善方策	
<p>学生側の意見やニーズだけでは十分とは言えない。 最低限のマナー・言葉使いについて学ぶ機会があれば、社会に出た時に恥をかかないと感じる。</p>	

(2) 学校運営	
評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
・目的等にそった運営方針が策定されているか	3
・運営方針にそった事業計画が策定されているか	3
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか 有効に機能しているか	3
・人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

(3) 教育活動		
評価項目		適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか		3
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか		3
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか		3
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか		3
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか		3
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技、実習等)が体系的に位置づけられているか		3
・授業評価の実施・評価体制はあるか		3
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか		3
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか		4
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか		4
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか		3
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか		3
・関連分野における先端的な知識・技能等を取得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか		3
・職員の能力開発のための研修等が行われているか		3
①課題		
教員資格を保持している優秀な人材の確保		
②今後の改善方策		
模試等の実施で早めから国家試験への意識を向けさせ取り組ませる		
教職員全体の技能の統一を図ることでより資質向上に向かうと感じる		

(4) 学習成果	
評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
・就職率の向上が図られているか	4
・資格取得率の向上が図られているか	4
・退学率の低減が図られているか	3
・卒業生・在校生の社会的な活躍および評価を把握しているか	3
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3
①課題	
学生の相談等を受ける体制はあるが、学校を辞めたいと思わせない努力も必要。	
学生との距離を縮めて退学率の低減を図る	
②今後の改善方策	
就職ガイダンスは実施しているが、担任も状況把握をし学生へ活動を促していく	
(5) 学生支援	
評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
・学生相談に関する体制は整備されているか	4
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
・課外活動に対する支援体制は設備されているか	3
・学生の生活環境への支援は行われているか	3
・保護者と適切に連携しているか	3
・卒業生への支援体制はあるか	3
①現状・課題	
常に開かれた教員とのつながりや校外への活動が目に見えて、学内だけでなく社会とのつながりが感じられる。	
学校教育の問題ではないが将来、社会人として働くことへの意識や考えが十分ではない。	

(6) 教育環境	
評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
・学校内の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
・防災に対する体制は整備されているか	3
①課題	
【設備】 教室が汚い時がある。 【実習設備】 道具などが古かったり、数が足りないと感じる。	
②今後の改善方策	
発注数を制限し、整理していく	
(7) 学生の受け入れ募集	
評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
・学生募集活動は、適切に行われているか	4
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
・学納金は妥当なものとなっているか	4
①課題	
今年度同等以上に募集活動を怠らないようにする必要がある	
(8) 財務	
評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
・財務について会計監査が適切に行われているか	4
・財務情報公開の体制整備はできているか	4
①現状・課題	
財務基盤は安定していると思う	

(9) 法令等の遵守		
	評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適切な運営がなされているか	4
	・個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	4
①現状・課題		
情報化社会で個人情報やリテラシーなど扱いが難しいが、教員や学生への指導を行っているように感じる		
(10) 社会貢献・地域貢献		
	評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
	・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
	・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3
①課題		
社会貢献・地域貢献をもっと行う必要がある		
②今後の改善方策		
積極的に地域のコミュニティに参加していく		

4 自己評価

(1) 達成度		
	評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
	・学校の教育目標	3
	・本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標・計画	3
	・仕事・役割分担、掃除分担	3

5 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

年間の事業計画や自己評価項目については概ね適切である。そのような中で、数値としては新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた感も否めない。次年度においては今年度の課題や改善点ならびに反省点を考慮し踏まえつつ、検定・資格取得、国家試験合格だけでなく、将来のための職業教育に傾注しながら、コロナ禍においても推進できる体制づくりを強化し、より良い学びを提供できるよう教職員一丸となって努めていく。